

NPO 金沢杜の里 NEWS

2021.7 No.38



若松橋



金沢市立杜の里小学校

校長 地 下 雅 志

杜の里の街へようこそ

今年度で創立十五周年となる本校に赴任し、地域も含めてどのような歴史の上に現在の本校があるのか、校長室に眠る様々な文献や資料等をめくったのは、ちょうど八重桜が満開の頃だったでしょうか。

平成十六年九月発行の金沢市若松・鈴見地区土地区画整理事業完工記念誌『金沢杜の里―街づくりの軌跡―』が目にとまりました。そこには、古墳時代の若松遺跡等、浅野川の流路の安定に伴って集落が営まれるようになった古代から、若松館の始まりや鈴見橋の役割等についての近代までが記されるとともに、一九八〇年代からの杜の里の街づくりが当時の懐かしい写真や地図等で示されています。地図では、まだ、本校は「小学校予定地」です。

本校の建設に関するファイルの中には、平成十七年の新聞記事がありました。見出しには、「北陸初の屋上プール」「防災、防犯機能に配慮」。施設の工夫が紹介される一方で、他の資料からは、「周辺環境との調和」「緑豊かな自然環境の中で若さと賑わいのある街」等、地域社会との調和のある学校づくりに係る文言がよく見られます。校舎の勾配屋根や植栽の配置、芝生広場や緑化テラス等、この地域にふさわしい校舎づくりが強く意識されていることが分かりました。

さらには、「ホタル舞う街づくり」や、「花プランター」の取組に関する資料や「一三〇〇年田上郷と若松荘の地名・字名と未来へ」(金沢市田上公民館ふるさと歴史研究会発行)の史料等々も。

これらに目を通して、この街を歩くと、また、違った景色が見えてきました。

これまでの、そして、これからの杜の里の街づくりの中で、今、四四六名(令和三年五月一日現在)の児童が、明るく元気に学校生活を送っています。

令和3年度 通常総会

令和3年6月13日(日)開催の令和3年度通常総会は、新型コロナウイルス発生による石川県内に「まん延防止等重点措置」が発出されたことに伴い、通常総会の開催を中止し、書面による表決としました。

- 1 表決者 85名(実出席者含む)
- 2 審議事項
 - (1)議案第1号 令和2年度事業報告及び収支決算に関する件
 - (2)議案第2号 令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)に関する件
 - (3)議案第3号 役員員の辞任に伴う選任の件

書面表決の結果、過半数を超え承認された。

令和3年度 事業計画

1. 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業方針	施策項目
①調査・研究会	事業促進のため、役員、会員等を対象に調査研究会及び講演会を開き計画を検証する。区画整理地内における建築行為に際し、地区計画のルールに基づき緑化の事前審査を行う。	・調査、研究事業 ・街づくり視察研修 ・地区計画申請の審査
②会員の拡大	組織強化と緑と花の街づくりに貢献するため、新規会員の拡大と既存会員の特典を促す事業を行い、地域を主体に会員を募る。	・会員募集 ・まつりギフト券
③ニュース(会報)の発行	街づくり活動の結果や案内等の「ニュース」を発行し、会員、地域住民等に配布する。	・ニュースの編集、発行
④ホームページ開設による情報公開	街づくり活動及び地域情報を多方面に発信し、情報活動の輪を広げる。	・HPの維持管理
⑤まちおこしイベント	地域の活性化と元気のある街づくりを推進するため、地域が共同で行う「三大まつり」等の各種イベントの協力・支援に関わる事業を行い、地域コミュニティの活性化と住民参加型の自発的な街づくり活動を支援する。	・三大まつり ・小学校、児童館イベント ・ミュージアムロード ・地域防災活動 ・金沢マラソン
⑥大学等及び国際交流センターとの交流事業	大学門前町として、地域と大学の交流連携を通じて、商店街及び学生等が街づくり等の地域貢献に関わる活動を支援する。	・学生交流活動 ・国際交流活動 ・商店街交流活動
⑦花・緑化推進事業	緑豊かな地域に住み、訪れる人々の安らぎに応えるため、周辺住民とともに四季の花々が彩る「花いっぱい運動」事業を行い、緑と花の溢れる心豊かな街づくりに努める。	・花いっぱい運動 ・セットバック保全整備 ・児童館との協働事業
⑧自然環境整備保全支援事業	水と緑豊かな地域の原風景を後世に伝えて行くため、浅野川等の河川保護と里山の保全に関わる団体等の活動を支援し、自然と共生する街づくりに寄与する。	・河川愛護活動 ・里山整備保全活動 ・ホタルの育成活動 ・卯辰山クリーンディー
⑨地域美化運動推進事業	安心して住み続けられる環境をつくるため、歩道の清掃及び沿道工作物の点検整備を行い、地域美化の推進に努める。	・公共設備の点検整備 ・幹線道路の清掃 ・案内板等の維持管理

2. その他の事業

事業名	事業方針	事業内容
①まちづくり環境整備受託事業	住まいづくりを支援するため、私有地の除草及び除雪作業等を地権者から受託する。	・私有地の除草等 ・樹木の伐採等
②公共施設管理受託事業	東部地域の道路、公園等の清掃及び管理業務を公共施設管理者から受託する。	・公共施設のモニター ・公園等の清掃等

令和3年度新役員 本年もよろしくお願ひいたします。

理事長	委員会	総務経理	情報公開	地域交流	環境保全	監事
中村 治吉	委員長	鈴坂 忠和	鈴坂 愛作	坂井 信明	村田 吉雄	山岸 豊
副理事長	副委員長	坂尻 峯男	高野 光知	桑本 一夫	中本 酷範	佐渡 靖昌
鈴木 忠和	委員			高野 学	山本 順久	
南 謙次				養川 政勝	城岸 整功	
事務局長				扇野 寛史	南 謙次	
鈴坂 愛作					山岸 豊	

街の声

「NEWS No.37号(R3.4.1)等のご意見感想から」

☆「NPO金沢杜の里NEWS」発刊された頃、街の声は今よりもっと少なかったような気がしますが、最近ではとても多くの声を聞くことができて嬉しいですね。それだけ皆さんがこの地域や広報誌に興味を持つ証ではないでしょうか。

☆プランターのお花がきれいに咲き、ホッと心が癒やされます。お世話「ご苦労様です」。

☆祭り等がコロナで中止になり、淋しいかぎりです。早く再会されるといいですね。今年もチューリップありがとうございます。

☆まちづくり活動状況を拝見し、ホタル放流にも取り組まれていることを知りました。昨年、子どもとホタルが沢山の山をみて、「近くでこんなに沢山のホタルが見られるなんてステキだねーキレイな水のところじゃホタルが来ないから」「ミ捨てちゃだめだね」と話しています。今年も沢山のホタルをみるのが楽しみです。いつもありがとうございます。

☆わかまつ児童館前で交通推進隊のボランティアをしています。春を告げるパンジーの花がプランターに色とりどりに咲き心がなごみます。いつも四季の花をお世話下さり有難うございます。

☆設立15年目おめでとうございます。長い間大勢の方に支えられていたことが分かりました。街の活性化に「尽力をいただき、ありがとうございます。コロナがおおつき、中止となったイベントが再開できますよう祈念しております」。

☆「若松杜の里桜まつり」のことを今まで知りませんでした。桜並木がキャンデルでライトアップされたことや、ローソクで文字制作されていたことなど、見て美しく演出されていることを知りませんでした。次の機会にはぜひ行ってみたいです。

☆いつもNPO活動、おつかれさます。そして、広報もありがとうございます。今回、初めてクロスワードパズルをしました。とってもむずかしかったです。途中で答えがわかりましたが、最後まで解答してみると「えっ!! こんな答えなの?」と首をかしげる事もありました。まだまだ勉強不足かな……? これからも長く続けて頑張ってください。

☆いつ通つても、街路の植栽の手入れと季節の花々にとても驚いています。私も「縁があり、この4月から杜の里地域の事業所に勤めています。これからは一層、この地域に感心を深めていきます。ありがとうございます」。

☆杜の里まちづくりでの沢山の活動……本当にお世話様です。☆いつも手入れありがとうございます。お手伝いできなくてごめんなさい。

☆今年も全国的にそして、ここ金沢でも桜の満開は早くあつたという間でした。4月下旬の今は、ツツジも咲きだして、季節がどんどん早くなっているように感じます。

☆今年もせせらぎ通りの螢を散策して見られる事を楽しみにしています。

わが町・探訪シリーズ19 「越前国田上郷」と「一集落24人」(1)

平成時代の土地区画整理事業に先立つ発掘調査によって、田上郷の居住の始まりは、弥生時代後期の約1900年前であることが分かりましたが、驚くことに平安時代後期(約1000年前)の田上町に4つの集落を集約し、また、5つの集落を含めた6つの遺跡が、約660年前の室町時代に一斉放棄されていることが分かりました。なぜ、田上町に集落を集め、一斉に消えたのか。今回は田上・若松地域における集落誕生と集落移転の謎に迫りたいと思います。

田上・若松地域の歴史は古く、約1320年前の701年(大宝1)の翌年に「越前国加賀郡田上里」は生まれますが、715年に里が郷に変わり、僅か13年で「加賀郡田上郷」に改正されます。越前国は現在の福井県ですが、越前国から能登国が独立したのは718年。加賀国の独立は平安時代初期の823年3月1日でした。その3カ月後に加賀郡と江沼郡は二つに割かれ、石川郡と能美郡は生まれますが、加賀郡が河北郡に郡名を変えるのは室町時代以降でした。

701年(大宝1)に国家体制が確立され「大宝律令」が完成します。翌年に施行された地方行政区分は「国・郡・里」の3段階でした。国司・郡司・里長が任命され、国府は武生(福井)に置かれました。国司(4人)は郡から派遣された役人で任期は6年でした。郡司(5人)は地域の豪族から国司の推薦と試験によって選ばれ、郡司が政務する郡家の建物は国家の管理であった。里長は裕福な農民を郡司が選びましたが、715年に里長は郷長に改められます。郷長はいわば浅川村の村長ですが。郷長の屋敷は役場でもありました。仕事は現在の警察署と税務署も兼ねており、公文書を作る知識と勢力がなくては務まらないと考えられています。

大宝令(701)に「1つの里に50の戸を置くこと」とあり、田上里(田上郷)の誕生は、50の戸(集落)の誕生を意味します。「日本の歴史2飛鳥と奈良」によると、「1つの

里(郷)の50戸は、自然発生の集落数ではなく、人為的に置かれたと考えられる。1戸の家族が50戸ではなく、10人前後の1家族を2つ3つ集めた大家族を1戸(1集落)としていた。記録にある千葉県北部の下総(しもふさ)の大島郷は戸数50戸(集落)で総人口は1191人。1戸(集落)当たりの平均は24人で、8家族であった。」とあります。河北郡浅川村は43カ村ですが、奈良時代の行政区分は小立野台地が田上郷の端とみられることから、旭町を含めた浅野川左岸集落は田上郷内の可能性があります。

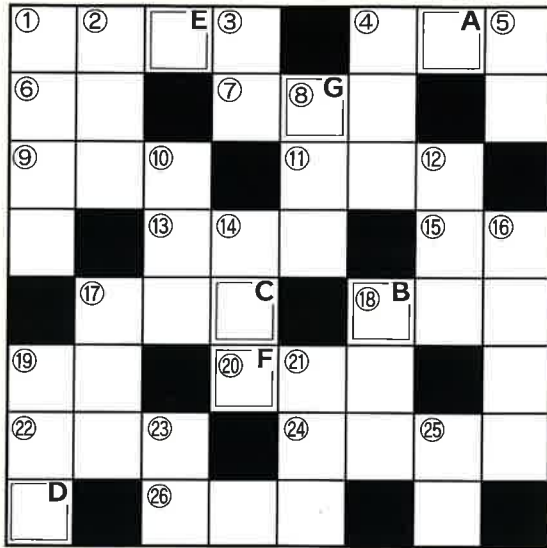
大島郷の例から推測して、田上郷の総人口は約1200人で、若松・鈴見・旭町・角間・下田上・上田上の総人口は約144人と思われれます。

京都の長岡京遺跡から出土した荷札の木簡に「延暦九年(790)田上郷戸主道公」とあり、朝廷に納めた品は白米とされています。また、927年の延喜式(宮中儀式と制度)に記されている「年料春米国」(しょうまい・白米)と「蘇番次国」(乳製品)は、現在の田上であると歴史家はみていますが、これらの産物は天皇や貴族のトップが食したとされています。裏付けとして、室町初期に成蘇6斗(チーズ)・絹糸などが田上から白山比咩神社に貢納され、室町中期の田上保大炊寮領(田上本町)の領主は宮内省の中原康富でした。高度な産物は集約集落の特別農民によって、国司支配の国衛領(田上本町)において生産していたと推測します。

(次号に続く)

参考文献 金沢市埋蔵文化財センター。日本の歴史2飛鳥と奈良・読売新聞社。石川県の地名・平凡社。荘園の歴史地理的世界・中野栄夫。郷土歴史研究家 亀田輝之

クロスワードパズル



答	A	B	C	D	E	F	G
---	---	---	---	---	---	---	---

応募方法

◎郵便はがきに解答と住所、氏名、感想等を記入し、7月31日までに、次の所へお送りください。
〒920-1165 金沢市若松町3-281
NPO金沢杜の里情報公開委員会係

委員会だより

環境保全委員会

平成19年4月に設立しました「NPO金沢杜の里」の定款の事業名に、環境保全・花いっぱい運動事業を掲げ、平成29年6月、国土交通大臣表彰を受賞し、15年目を迎えました。

令和3年度事業推進の中でも、「花・緑化推進事業」として、鈴懸坂を始め5カ所の歩道脇に、3月は800本のチューリップ、4月は1200個のペコニアの花苗400基のプランターを配置し、緑と花の溢れる心豊かな街づくりを進めており、地域の方々等から心が癒されるなど感謝の声をお聞きしております。

今年度も当面の事業として下記のとおり計画しております。皆様に作業のご協力をお願いいたく思っております。よろしくお願いいたします。



当面の行事予定

- プランター撤去 (11月27日)
- 落葉清掃 (12月4日)

タテのカギ

- ① 講習や講義を受ける事
- ② はもの
- ③ 戒めのことば
- ④ ホールなどの床
- ⑤ 馬に乗った人
- ⑥ 決められた時刻に遅れる
- ⑦ 学問を身につけていないこと
- ⑧ 他人が自分の家を訪ねてくることの敬語
- ⑨ 歯をすり合わせて音を出すこと
- ⑩ 寒さに耐えること
- ⑪ ツバキ科の常緑高木
- ⑫ 課された項目
- ⑬ 役所
- ⑭ 佐渡にいる特別天然記念鳥
- ⑮ 瀬戸敷設等の食器

ヨコのカギ

- ① 幾重かになった太い環の形
- ② だいたんに恐れないこと
- ③ 「ハイ」と返事すること
- ④ 一筋の道路
- ⑤ さまたげる
- ⑥ 動物園の人気もの
- ⑦ 優れた画家
- ⑧ 木を薄く平たく切ったもの
- ⑨ ビール等の原料
- ⑩ 二つ合せて一組となるもの
- ⑪ 物事の多少を示すことば
- ⑫ セリ科の多年草
- ⑬ 麦を発芽させたもの
- ⑭ 名前の下に印を押すかわりに自分で書く図案化したサイン
- ⑮ ほとんど違わないこと

◎38号の正解者の中から抽選で15名様に粗品を8月上旬に発送します。

◎38号の解答は、令和3年11月発行の39号に掲載します。

◎37号の解答は「ワカマツセセラギ」公園でした。

ふるさと探訪

若松三大祭り・若松杜の里秋まつり

2001年(平成13年)9月に若松周辺住民の親睦と連帯を図る目的で若松八幡神社おひざもとの若松八幡さん公園で、第一回若松杜の里秋まつりが開催されました。

このお祭りでは、若松の子供達が若松全町会を練り歩く、こどもみこし行列や若松各町会、子ども会による模擬店など地域住民の皆さんが協力しあい開催する手づくりのおまつりになります。他にも、杜の里エンジェルスの子アリーディングなど、地域で活躍する子供たちの姿を住民の皆さんに観て頂く場でもあります。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催を見送りましたが、この困難を乗り越え、住民の皆さんの交流の場であるお祭りが来る事を願います。

杜の里秋まつり実行委員長 藤川洋右



新型コロナウイルス感染まん延防止等重点措置の発生が解除になりましたが、各種イベントの開催が望まれます。皆様の温かいご意見、感想等のお便りが街づくり事業等の励みになります。(編集後記)